

取扱説明書

半定置形ガス警報器

GAP-1



本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みいただき、内容に従って正しくご使用ください。
また、お読みになった後も、本書をすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

株式会社 **ガステック**

IM19GAP1J1

1	はじめに	4
1.1	はじめに	4
1.2	安全にお使いいただくために	5
1.2.1	安全上の注意	5
1.2.2	取り扱い上の注意	6
1.2.3	廃棄方法	6
2	製品の構成と機能	7
2.1	セット内容を確認する	7
2.2	各部の名称と機能	8
2.3	知っておいていただきたいこと	10
2.3.1	Bluetooth®無線技術によるガス検知器との通信	10
2.3.2	ガス検知器との通信によるガス濃度監視方法	11
2.3.3	電池残量の確認方法と連続使用時間	12
2.3.4	監視中ランプ機能	13
2.3.5	ハンドル回転機能	14
2.3.6	脚の長さ調節	15
2.3.7	本製品を固定して使用する場合	17
3	初めてのご使用前に	19
3.1	電源を準備する	19
3.1.1	内蔵充電機を使用する場合	19
3.1.2	専用 AC アダプター(オプション)を使用する場合	19
3.2	ガス検知器をセットする	22
4	使用方法	24
4.1	使用前の準備・点検	24
4.1.1	準備・点検から使用への流れ	24
4.1.2	電源を入れる	25
4.1.3	警報ランプと警報ブザーを点検する	26
4.2	使用する	27
4.2.1	ガス検知器を登録後、ガス濃度を監視する	27
4.2.2	登録済みのガス検知器を使用してガス濃度を監視する	32
4.2.3	ガス濃度監視中の表示	34
4.2.4	ガス警報の種類と動作	35
4.3	電源を切る	36
4.4	監視中ランプ機能の有効/無効を切り替える	37
5	メンテナンス	38
5.1	充電する	38
5.2	お手入れ	41
6	故障かな?と思ったら	42
6.1	こんなときは	42
6.2	エラーメッセージ	44
7	仕様	45
7.1	仕様	45

7.2 オプション	46
8 アフターサービスと保証書	47

1

2

3

4

5

6

7

8

1 はじめに

1.1 はじめに

お願い

- 本書では、安全にご使用いただくための注意事項を「1.2 安全にお使いいただくために」に記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- 本製品を貸与・譲渡するときは、本書を本製品に添付してお渡してください。
- 本書を紛失または損傷した場合は、速やかに最寄りの弊社営業所または販売店にお問い合わせください。

凡例

本書では、本製品を安全に使用するうえでの注意事項を、危険や損害の大きさと切迫の程度に応じて次のように区分し、シンボルマークとともに示しています。いずれも、ご使用になる方や他の人の安全に関わる重大な内容です。本製品を安全にご使用いただくために、本書および製品本体に示された注意事項を必ずお守りください。

 危険	使用者が死亡または重傷を負う可能性が高いこと
 警告	使用者が死亡または重傷を負う恐れがあること
 注意	使用者が軽傷を負う恐れがあること

また、故障を防ぐための注意事項やアドバイスを、次のシンボルマークとともに示しています。

 お願い	本製品や付随するものが故障する恐れがあること
 ポイント	本製品を使用するにあたってのアドバイス

おことわり

- 本書の著作権は、株式会社ガステックが所有しています。したがって、弊社の許可無く内容の一部または全部を転載・複製することはできません。
- 本書に示す図やイラストは、形、大きさ、位置が実物と異なる場合があります。

1.2 安全にお使いいただくために

- 本製品は、ガス測定の知識を有する専門家が使用してください。
 - 本製品は、半定置形ガス警報器です。弊社の Bluetooth®無線技術対応のガス検知器との通信によるガス濃度の監視以外の目的で使用しないでください。
- 上記項目に反する状況で発生した事故については、一切の責任を負いかねます。

1.2.1 安全上の注意

危険

- **本製品は非防爆構造のため、爆発の危険性のある場所で使用しない**
本製品が着火源となる爆発事故の原因

警告

- **酸素欠乏症等防止規則における始業前の点検、安全確認のための測定は本製品ではできない**
- **弊社の Bluetooth®無線技術対応のガス検知器を登録して使用する**
ガス検知ができない原因
 - ・ 対応する弊社のガス検知器については P.10 「2.3.1 Bluetooth®無線技術によるガス検知器との通信」を参照してください。
- **登録済みのガス検知器の電源が入った状態で使用する**
ガス検知ができない原因
 - ・ 装着形酸素・一酸化炭素検知警報器 GOC-200 に関しては電源が入っていても Bluetooth 機能が有効になっていない場合があります。Bluetooth 機能が有効であることを確認してから使用してください。
- **始業前の点検および定期点検・保守をする**
ガス濃度データの受信およびガス警報の発報が出来ない原因
- **登録するガス検知器の取扱説明書をよく読んでから使用する**
ガス検知ができない原因
- **使用温度、湿度範囲を超える場所で使用しない**
故障によりガス濃度データの受信およびガス警報の発報が出来ない原因
 - ・ 本製品の使用温度範囲、湿度範囲は P.45 「7 仕様」を参照してください。
- **本製品がガス警報を発報した場合は速やかに避難して安全を確保する**
酸欠事故、一酸化炭素中毒事故などの原因
 - ・ 各事業所の安全衛生管理規定に従ってください。
- **電池残量を確認し、必要であれば充電してから使用する**
電源が落ち、ガス検知ができない原因
- **受信アンテナは金属などで覆わない**
ガス検知器からのガス濃度データが受信できない原因
- **警報ブザー放音口はふさがない**
ガス警報に気づかない原因
- **警報ランプは覆わない**
ガス警報に気づかない原因
- **エラーメッセージが表示された場合は、ただちに使用を中止し、安全な場所で点検する**
ガス検知が出来ないことによる事故の原因
 - ・ 各種エラーメッセージの内容については P.44 「6.2 エラーメッセージ」を参照してください。
- **落下などの強い衝撃や振動を与えない**
故障によりガス濃度データの受信およびガス警報の発報が出来ない原因
- **本製品を分解または改造しない**

ガス濃度データの受信およびガス警報の発報が出来ない原因

- **本製品と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用した無線 LAN、電子レンジ、無線機器の周辺で使用しない電波干渉による、通信データの異常の原因**
 - ・電波干渉が発生した場合、使用しない機器を停止するか、干渉する機器の使用場所を変えるなどしてください。
- **専用充電器については、専用充電器同梱の取扱説明書をよく読んで使用すること**
事故や故障の原因



注意

- **ハンドルを回転するときは、指の挟みこみに注意する**
けがの原因

1.2.2 取り扱い上の注意

- 通信するガス検知器との距離や遮蔽物、電波状況によって無線通信が正しく行われな場合があります。
- 脚を伸縮させるときは本体の水平を保つようにしてください。予期せぬ転倒の恐れがあります。
- 付属の専用充電器以外を使用して充電しないでください。
- 専用充電器については、専用充電器同梱の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
- 指定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- 充電温度範囲を超える場所で充電しないでください。
本製品の充電温度範囲は P.45 「7 仕様」を参照してください。
- 専用充電器は防じん・防水仕様ではありません。水やほこりがかかる恐れのない場所で充電してください。
- 充電時以外は充電器用コネクタにキャップを取り付けてください。
取り付けていないと防じん・防水性を損なうため、故障の恐れがあります。
- 長期間使用しない場合は切り替えスイッチを「充電」に設定してください。
内蔵充電電池の消耗や液漏れによる故障の恐れがあります。
- 高温となる熱源に向けてガス検知器をセットしたまま放置しないでください。
ガス検知器の故障の恐れがあります。
- 直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- 50℃以上の高温、または-10度未満の低温の場所で保管しないでください。
- 水や蒸気、砂や粉じんなどのかかる場所に保管しないでください。
- アルコールを使用して洗浄しないでください。
- 水に浸けて洗浄しないでください。
- AC 電源を使用する場合は弊社のオプション品である専用 AC アダプターをご使用ください。
- 専用 AC アダプターの本製品に接続部分は防じん・防水仕様になっていますが、AC100V 用コンセントとの接続部分は防じん・防水仕様にはなっていません。水や粉じんなどのかかる環境においては別途保護をしてください。
- AC アダプター接続時以外は AC アダプター用コネクタにキャップを取り付けてください。
取り付けていないと防じん・防水性を損なうため、故障の恐れがあります。

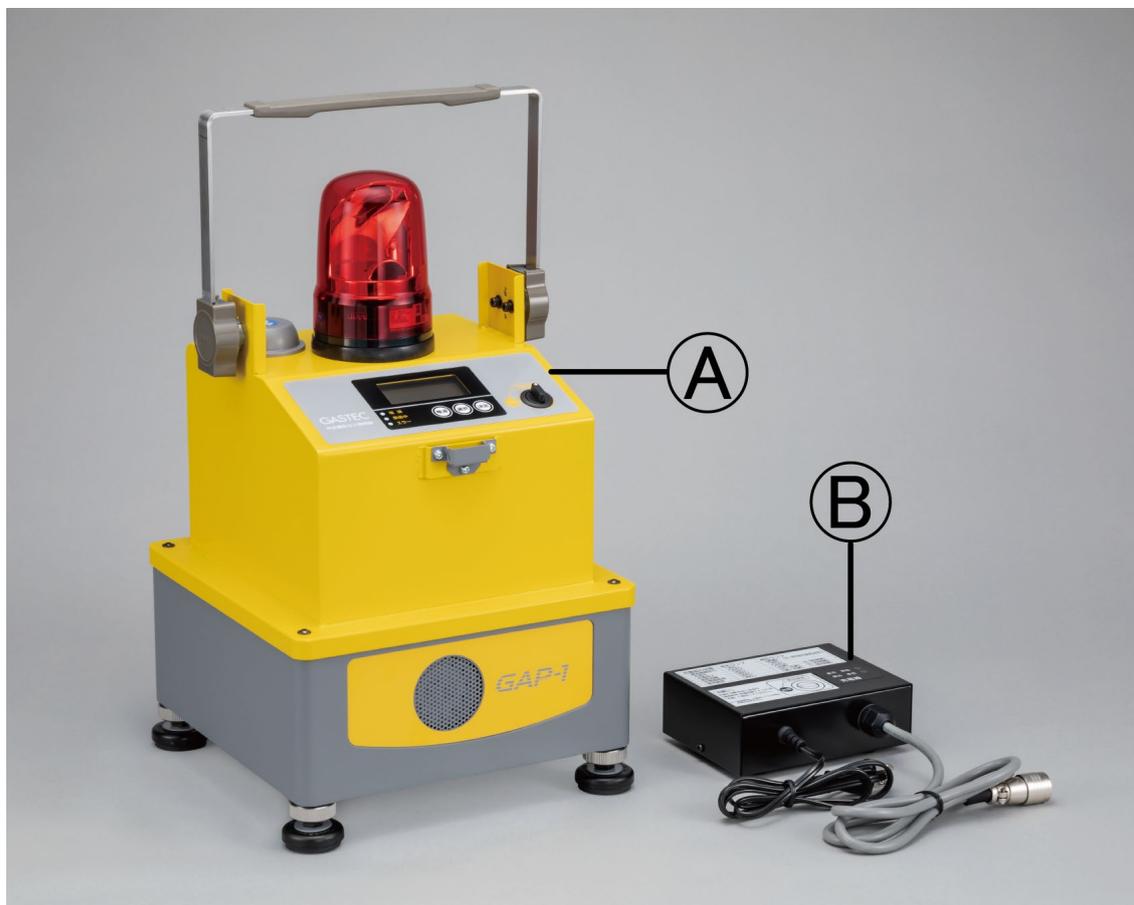
1.2.3 廃棄方法

- 本製品はニッケル水素充電電池を内蔵しています。本製品を廃棄する際は、産業廃棄物として「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って処理するか、地方自治体および事業所の規定に従って処理してください。

2 製品の構成と機能

2.1 セット内容を確認する

初めてのご使用前に、本体および同梱品がすべてそろっていることを確認してください。

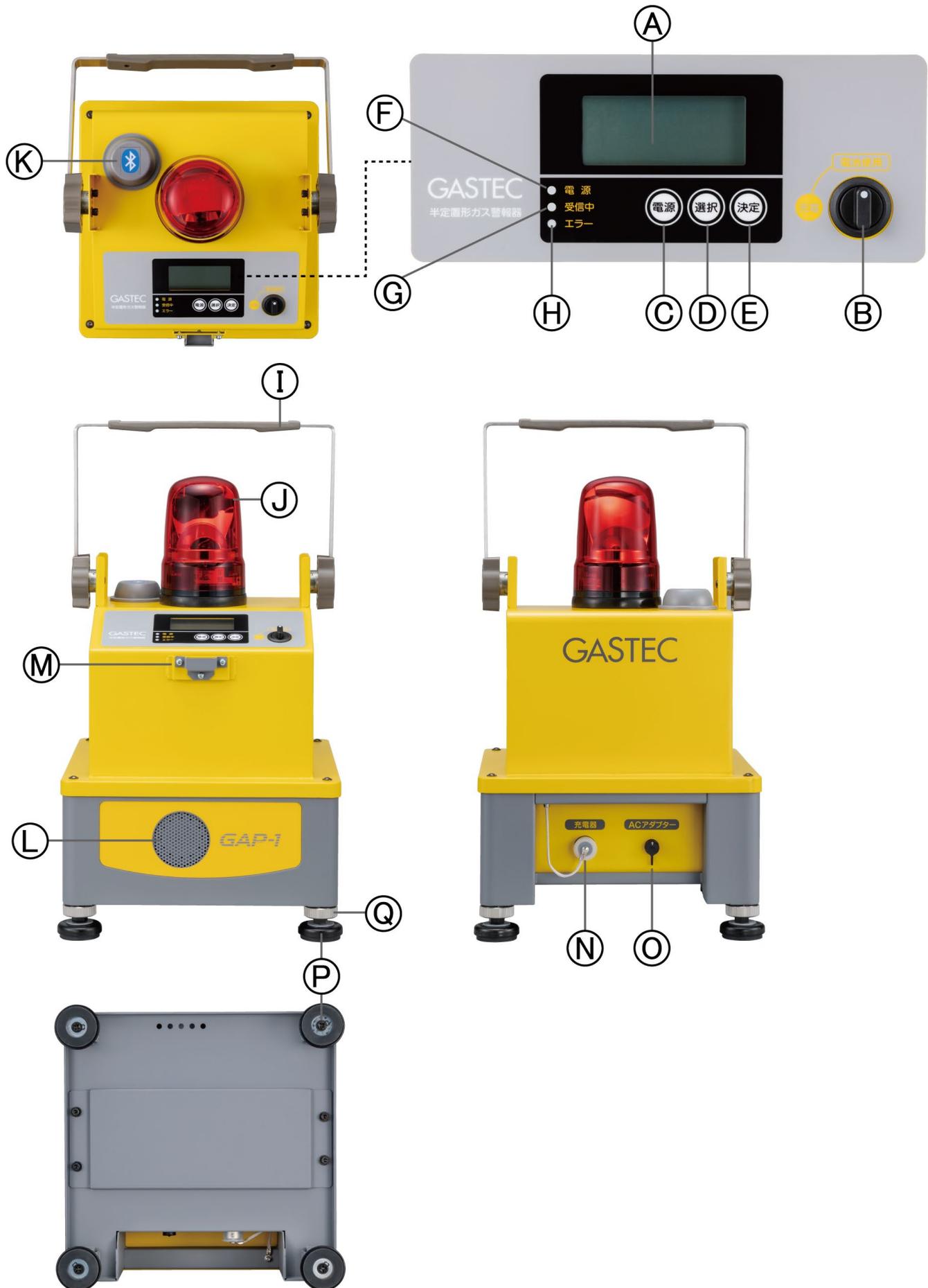


2

製品の構成と機能

記号	品名	型式	数量
Ⓐ	本体	GAP-1	1
Ⓑ	専用充電器(取扱説明書付き)		1
取扱説明書(本書) 保証書付き			1

2.2 各部の名称と機能



記号	名称	説明
Ⓐ	液晶画面	通信しているガス検知器に関する情報、本製品の電池残量、エラー情報などを表示します。
Ⓑ	切り替えスイッチ	内蔵充電電池の使用状態と充電状態を切り替える際に使用します。 「電池使用」:内蔵充電電池を電源として使用する場合 「充電」:内蔵充電電池を充電する場合
Ⓒ	[電源]スイッチ	電源入/切の際に操作をします。
Ⓓ	[選択]スイッチ	項目や通信するガス検知器の選択の際に操作をします。カーソルが表示されている画面で押すとカーソルが下方方向に動きます。
Ⓔ	[決定]スイッチ	項目や通信するガス検知器の決定の際に操作をします。
Ⓕ	電源ランプ	電源が入っていると緑色のランプが点灯します。
Ⓖ	受信中ランプ	ガス濃度監視中に登録したガス検知器と通信していると緑色のランプが点滅します。
Ⓕ	エラーランプ	各種エラーが生じたときに赤色のランプが点灯します。 (→P.44 「6.2 エラーメッセージ」)
Ⓖ	ハンドル	本製品を持ち運ぶときに使用します。 前後に回転することができます。 (→P.14 「2.3.5 ハンドル回転機能」)
Ⓖ	警報ランプ	通信しているガス検知器のガス濃度が本製品で設定している警報値に達したとき、またはエラーが発生したときに点灯します。 監視中ランプを有効にした場合は、通常運転時も5分に1回点灯します。
Ⓖ	受信アンテナ	ガス検知器からの Bluetooth 電波を受信します。
Ⓖ	警報ブザー	通信しているガス検知器のガス濃度が本製品で設定している警報値に達したとき、またはエラーが発生したときに警報音が鳴ります。
Ⓖ	ガス検知器フック	ガス検知器を本製品に取り付けるために使用します。 (→P.22 「3.2 ガス検知器をセットする」)
Ⓖ	充電器用コネクタ (キャップ付き)	充電する際にキャップを外して専用充電器と接続します。
Ⓖ	AC アダプター用コネクタ (キャップ付き)	AC 電源を使用する際にキャップを外して専用 AC アダプター (オプション) を接続します。
Ⓖ	脚	本体底面四隅に配置されています。伸縮、取り外し可能です。 (→P.15 「2.3.6 脚の長さ調節」、P.17 「2.3.7 本製品を固定して使用する場合」)
Ⓖ	ローレットナット	脚の長さ固定に使用します。固定の際は本体側に締め付けます。(→P.15 「2.3.6 脚の長さ調節」)

2.3 知っておいていただきたいこと

2.3.1 Bluetooth®無線技術によるガス検知器との通信

本製品は Bluetooth®無線技術を内蔵しており、弊社の Bluetooth®無線技術対応のガス検知器（下表参照）のガス濃度データを受信し、その指示値に応じてガス警報を発報する製品になります。

ガス濃度データを受信するためには本製品に対象のガス検知器を登録する必要があります。

そのため、ガス検知器1台以上を本製品に登録してご使用ください（ガス検知器の最大登録台数：9台）。

(→P.27「4.2.1 ガス検知器を登録後、ガス濃度を監視する」)

代表的な弊社の Bluetooth®無線技術対応のガス検知器	
品名	型式
装着形酸素・一酸化炭素検知警報器	GOC-200
Bluetooth®無線技術搭載 装着形一酸化炭素検知警報器	CM-9A-BT
Bluetooth®無線技術搭載 装着形酸素・一酸化炭素検知警報器	GOC-100-2-BT

※その他のガス検知器に関しては最寄りの弊社営業所または販売店にお問い合わせください。

半定置形ガス検知警報器システムの構成



ガス警報器 GAP-1

ガス濃度を受信



装着形
酸素・一酸化炭素検知警報器

GOC-200



Bluetooth®無線技術搭載
装着形一酸化炭素検知警報器

CM-9A-BT



Bluetooth®無線技術搭載
装着形酸素・一酸化炭素検知警報器

GOC-100-2-BT



ガス検知器を身体に装着した
状態でガス濃度を受信可能

別売

ガス検知部

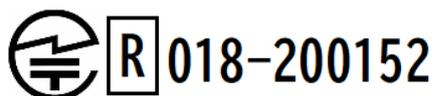


- 弊社の Bluetooth 無線技術®対応のガス検知器を登録して使用する
ガス検知ができない原因
- 登録済みのガス検知器の電源が入った状態で使用する
ガス検知ができない原因
 - ・ GOC-200 に関しては電源が入っていても Bluetooth 機能が有効になっていない場合があります。
Bluetooth 機能が有効であることを確認してから使用してください。

- 登録するガス検知器の取扱説明書をよく読んでから使用すること
ガス検知ができない原因
- 受信アンテナは金属などで覆わない
ガス検知警報器からのガス濃度データが受信できない原因
- 本製品と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用した無線LAN、電子レンジ、無線機器の周辺で使用しない
電波干渉による、通信データの異常の原因
 - ・電波干渉が発生した場合、使用しない機器を停止するか、干渉する機器の使用場所を変えるなどしてください。

●電波法認証

本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵しております。



ポイント

- 通信するガス検知器との距離や遮蔽物、電波状況によって無線通信が正しく行われな場合があります。
- 通信するガス検知器とはガス検知器の型式、製造番号、ガス濃度、エラー情報の通信のみを行っており、警報値設定の情報は共有していません。

本製品の各ガス濃度の警報値（標準仕様）は以下のように設定されており、通信するガス検知器のガス濃度がそれぞれの警報値に達すると発報します。

本製品の警報値（標準仕様）		
ガス名	警報名	警報値
一酸化炭素	第1警報	50ppm 以上
	第2警報	150ppm 以上
酸素	酸欠警報	18.0%以下
	酸素濃度過多警報	設定なし

ガス検知器の警報値が異なる場合は、本製品が発報していてもガス検知器が発報しない、もしくは本製品が発報していてもガス検知器が発報することがあります。

本製品の警報値を変更したい場合は最寄りの弊社営業所または販売店にお問い合わせください。

2.3.2 ガス検知器との通信によるガス濃度監視方法

本製品はガス検知器との通信により、以下のような多様な使い方ができます。使用するときの参考にしてください。

半定置ガス検知警報システムとしての使用

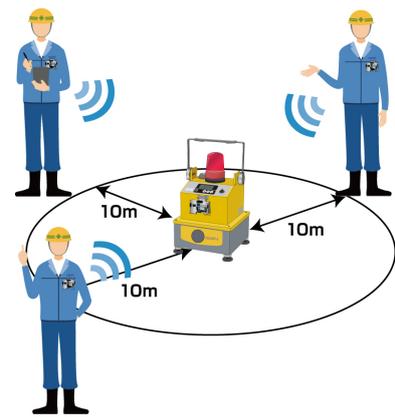
登録したガス検知器を本製品に取り付けた場合、視認性の高い警報ランプと大音量の警報ブザーを備えた半定置形のガス検知警報システムとして使用できます。



イメージ

作業エリアの安全監視システムとしての使用

本製品と通信可能な範囲内（本製品の周囲約10m以内）で作業している作業者にそれぞれ登録したガス検知器を装着した場合、そのうち1人でも装着しているガス検知器がガス警報を発報すると本製品も発報し、同じエリアにいる他の作業員や周囲に危険を知らせることができます。



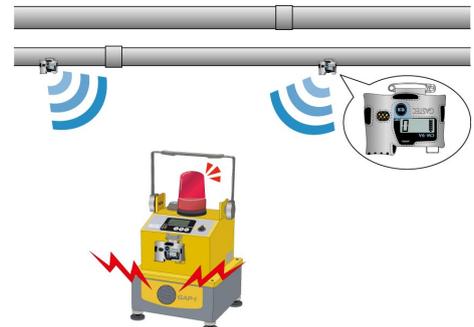
イメージ

ポイント

- 上記の場合でもガス検知器を本製品にも取り付けて使用することを推奨しています。
- 通信するガス検知器との距離や遮蔽物、電波状況によって無線通信が正しく行われない場合があります。

ガス発生の恐れがある場所におけるガス濃度の遠隔監視

本製品と通信可能な範囲内（本製品の周囲約10m以内）のガスが発生する恐れのある複数の場所に登録したガス検知器を設置すると、本製品でそれらの場所のガス濃度を遠隔で監視できます。



イメージ

ポイント

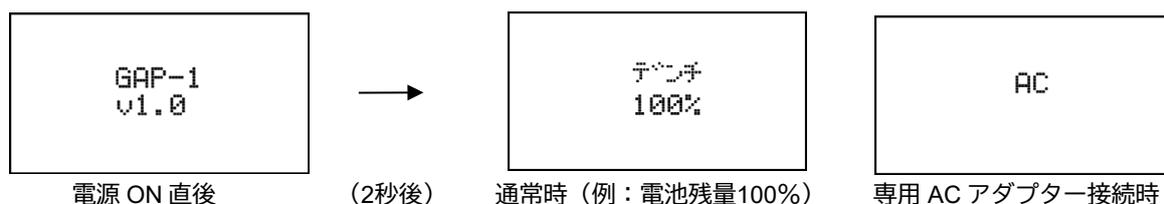
- 上記の場合でもガス検知器を本製品にも取り付けて使用することを推奨しています。
- 通信するガス検知器との距離や遮蔽物、電波状況によって無線通信が正しく行われない場合があります。

2.3.3 電池残量の確認方法と連続使用時間

本製品はニッケル水素充電電池を内蔵しています。ニッケル水素充電電池の電池残量は以下の方法で確認できます。電池残量は0～100%（10、20、40、60、80、100%の6段階）で表示されます。（専用 AC アダプター使用時は“AC”と表示されます。）

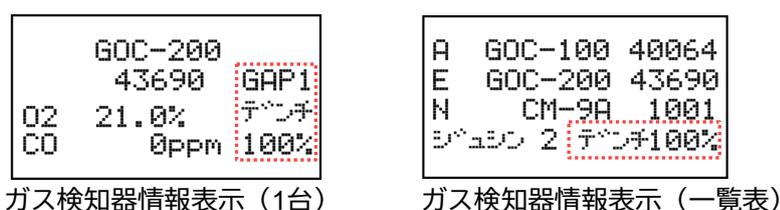
電池残量の確認方法（電源を入れたとき）

電源を入れたときに切り替わる画面で電池残量の確認ができます。



電池残量の確認方法（ガス濃度監視中）

ガス濃度監視中は画面右下に表示されます。



ポイント

- 本製品の電池残量のみ表示されます。通信しているガス検知器の電池残量は表示されません。

電池残量と連続使用時間の関係

電池残量ごとの連続使用時間の目安は以下の通りです。

（条件：警報なし、新品電池、周囲温度20℃）

電池残量	連続使用時間
100%	250時間
80%	200時間
60%	150時間
40%	100時間
20%	50時間
10%	25時間

ポイント

- 上記はあくまで目安です。電池残量に余裕をもって使用してください。

2.3.4 監視中ランプ機能

本製品には遠くからでもガス濃度の監視中であることを確認できるように警報ランプが5分ごとに1度、2秒程度点灯する監視中ランプ機能があります。（初期設定：無効）

この機能を有効または無効にする場合は、P.37「4.4 監視中ランプ機能の有効/無効を切り替える」を参照してください。

2.3.5 ハンドル回転機能

運搬時や設置時など状況に合わせてハンドルを前後に回転することができます。

ご購入時は前に90°回転した状態で梱包されています。使用時は以下の方法で適切な角度に回転してください。



- ハンドルを回転するときは、指の挟みこみに注意する
けがの原因

- 1 ハンドルストッパーを両側から押し込む
ハンドルストッパーのロックが解除されます。



- 2 ハンドルストッパーを押し込んだ状態でハンドルを回転する
前90°、後135°まで回転することができます。



3 ハンドルを固定したい角度でハンドルストッパーから手を放し、ハンドルをロックする 回転角度22.5°ごとにロックができます。

ポイント

- ハンドルの固定角度ごとに以下のような使い分けができます。

角度	使用状態
前90°	両手持ち運搬時
前後0°	片手持ち運搬時
後135°	ガス濃度監視時



両手持ち運搬時の持ち方（前90°）



<ハンドルの回転角度と位置>



前90°



後135°

2.3.6 脚の長さ調節

設置場所の状況に合わせて脚の長さを調節することができます。（最大+40mm伸ばすことが可能）
購入時は一番脚を短くした状態で梱包されています。必要であれば以下の方法で長さを調節してください。

1 脚のねじを緩める

プラスドライバーまたは六角スパナ（対辺1/2インチ）を使用してください。



2 脚のねじ部を回し、長さを調整する

脚のねじ部を時計回しに回すと縮み、反時計回しに回すと伸びます。

(購入時から最大+40mm伸ばすことが可能)

3 ローレットナットを本体側へ締め付け、脚の長さを固定する

ローレットナットが脚から離れない場合は脚をプラスドライバーまたは六角スパナ（対辺1/2インチ）で固定してローレットナットを時計回しに回して本体側へ締め付けてください。



4 残りの脚3本とも同様に長さを調節し、固定する



脚を伸ばした状態

お願い

- 脚を伸縮させるときは本体のガタつきが大きくなるようにしてください。予期せぬ転倒の恐れがあります。

2.3.7 本製品を固定して使用する場合

本製品を架台などに固定して使用する場合は以下の方法で脚4本を外し、現れた4つのねじ穴（M8）を用いて固定してください。

1 脚のねじを緩める

プラスドライバーまたは六角スパナ（対辺1/2インチ）を使用してください。

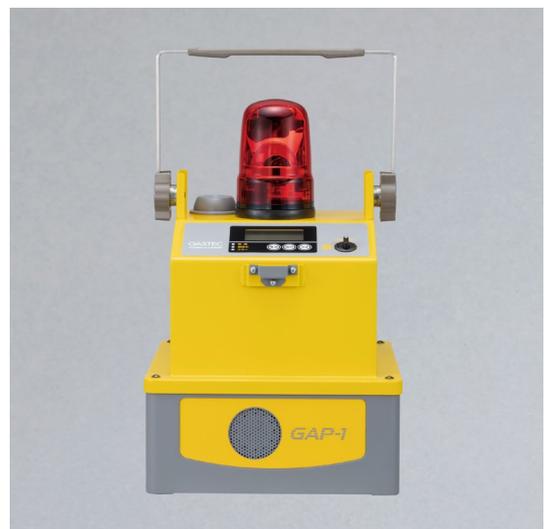


2 ローレットナットを回し、脚とローレットナットを本体から取り外す

脚のねじ部を反時計回りに回し続けると本体から取り外すことができます。

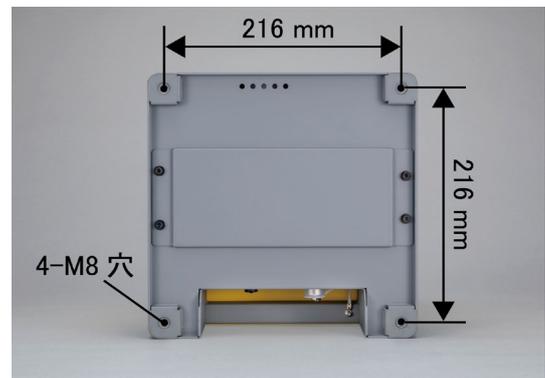


3 残りの脚3本も同様に本体から取り外す



4 現れた M8ねじ穴4つを用いて架台などに固定する

右記の寸法を参考にしてください。



ポイント

- 上記の方法で脚を外せば、脚の交換もしくはキャスターなどへの付け替えもできます。

3 初めてのご使用前に

3.1 電源を準備する

3.1.1 内蔵充電電池を使用する場合

本製品はニッケル水素充電電池を内蔵しています。電池残量を確認（→P.12「2.3.3 電池残量の確認方法と連続使用時間」）し、電池残量が十分でない場合は充電（→P.38「5.1 充電する」）してからご使用ください。



- 電池残量を確認し、必要であれば充電してから使用する
電源が落ち、ガス検知ができない原因

内蔵充電電池を使用するための前準備

- 1 切り替えスイッチを「電池使用」に設定する



ポイント

- ご購入時は切り替えスイッチが「充電」に設定されています。
- 切り替えスイッチが「充電」に設定されている場合、内蔵充電電池は使用できません。

3.1.2 専用 AC アダプター(オプション)を使用する場合

オプションの専用 AC アダプターを使用すれば、AC100V 電源で本製品を動作することができます。

ポイント

- 専用 AC アダプターを使用するときは内蔵充電電池ではなく専用 AC アダプターがメイン電源となります。コネクターに接続する機器と切り替えスイッチの設定の組み合わせにより本製品は以下のように動作します。

コネクター接続機器	切り替えスイッチ	
	電池使用	充電
なし	電源：内蔵充電電池	電源：入らない
専用 AC アダプターのみ	電源：専用 AC アダプター	電源：専用 AC アダプター
専用充電器のみ	電源：内蔵充電電池 充電：されない	電源：入らない 充電：される
専用充電器 & 専用 AC アダプター	電源：専用 AC アダプター (内蔵充電電池がバックアップ電源) (※1) 充電：されない	電源：専用 AC アダプター 充電：される (※2)

(※1) この場合、専用 AC アダプターの接続端子が抜けたり、断線したり、停電するなどした場合でも内蔵充電電池がメイン電源に切り替わり、ガス濃度の監視を続けることができます。

(※2) この場合、充電温度範囲（周囲温度：5～35℃）の条件を満たした環境でしか使用できません。

- AC100V 電源以外での使用を希望される場合は、最寄りの弊社営業所または販売店にお問い合わせください。

専用 AC アダプター接続方法

1 AC アダプター用コネクターのキャップを開ける



2 専用 AC アダプターの本体接続プラグを AC アダプター用コネクターに差し込む

本体接続プラグの固定部を持ち、コネクターの白い三角マークと接続プラグの白い矢印を合わせて、“カチッ”とロック音がするまでまっすぐ差し込みます。

<専用 AC アダプターの本体接続プラグ>



お願い

- ロックがされていないと防じん・防水性を損ないます。
ロックされていることを確認してから使用してください。



3 専用 AC アダプターを AC100V 用コンセントに差し込む

お願い

- 専用 AC アダプターの本製品への接続プラグは防水防じん仕様になっていますが、AC100V コンセントとの接続部分は防じん・防水仕様にはなっていません。水やほこりがかかる環境においては別途保護をしてください。

専用 AC アダプター取り外し方法

1 専用 AC アダプターを AC100V 用コンセントから引き抜く

2 専用 AC アダプターの本体接続プラグを AC アダプター用コネクターから引き抜く

本体接続プラグの可動部を持ち、まっすぐ引き抜きます。

<専用 AC アダプターの本体接続プラグ>



お願い

- 本体接続プラグの固定部を持って引き抜くとロックが外れず、本体接続プラグが壊れる恐れがあります。必ず本体接続プラグの可動部を持ってまっすぐ引き抜いてください。



3 ACアダプター用コネクタにキャップをする

お願い

- キャップをしないと防じん・防水性を損ないます。ACアダプターを使用しないときは必ずキャップをしてください。



3.2 ガス検知器をセットする

本製品にはガス検知器を1台、下記の方法で取り付けて使用することを推奨しています。



- 弊社の Bluetooth®無線技術対応のガス検知器を登録して使用する
ガス検知ができない原因
- 登録するガス検知器の取扱説明書をよく読んでから使用する
ガス検知ができない原因
 - ・ 対応する弊社のガス検知器については P.10 「2.3.1 Bluetooth®無線技術によるガス検知器との通信」を参照してください。

1 ガス検知器にソフトケースを装着する

ソフトケース装着方法は各ガス検知器の取扱説明書を参照してください。

ポイント

- 各ガス検知器にはすべて安全ピン付きのソフトケースが付属されています。
- ソフトケースの安全ピンが壊れた場合は安全ピンを交換してください。
- 各ガス検知器付属のソフトケースだけでなく、各ガス検知器のオプション品である耐熱ソフトケースも使用できます。

例) GOC-200



2 ソフトケースの安全ピンをガス検知器フックのスリットに差し込む



3 安全ピンがスリットの終点まで行くようにソフトケースを押し込む

ポイント

- ソフトケースを押し込まない場合、運搬時の振動などでガス検知器が外れる恐れがあります。



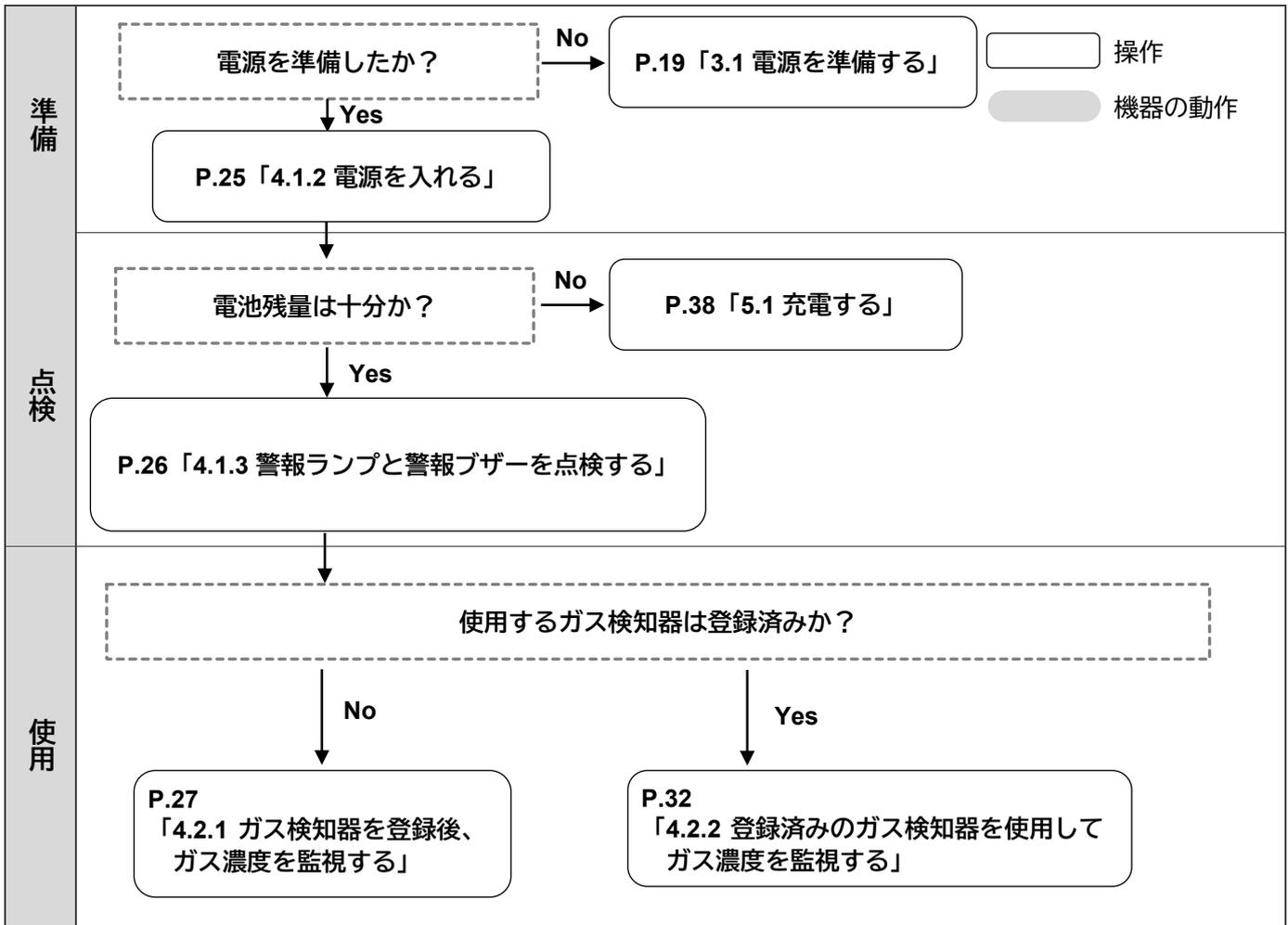
お願い

- 予期せぬ衝撃などでガス検知器フックのスリットが狭まり、安全ピンが通らなくなった場合はペンチなどを用いてスリットを広げるか、ガス検知器フック（保守部品）の交換をお願いします。ガス検知器フックの交換に関しては最寄りの弊社営業所または販売店にお問い合わせください。
- 高温となる熱源に向けてガス検知器をセットしたまま放置しないでください。ガス検知器の故障の恐れがあります。

4 使用方法

4.1 使用前の準備・点検

4.1.1 準備・点検から使用への流れ



4.1.2 電源を入れる

1 を押して、起動する

電源ランプが点灯し、右図のようにバージョン表示→電池残量表示→一酸化炭素の警報値→酸素の警報値→監視中ランプのオン/オフの順で各2秒間表示されます。

ポイント

- 各ガス濃度の警報値は以下のように設定されています（標準仕様）。変更をご希望の場合は最寄りの弊社営業所または販売店にお問い合わせください。

本製品の警報値の設定（標準仕様）

ガス名	警報名	液晶表示	警報値
一酸化炭素	第1警報	CO ガイ1	50ppm 以上
	第2警報	CO ガイ2	150ppm 以上
酸素	酸欠警報	O2 ケイホウ	18.0%以下
	酸素濃度 過多警報	O2 ハイケイホウ	オフ

- 監視中ランプは初期設定ではオフ（無効）に設定されています。変更をする場合は、P.37「4.4 監視中ランプの有効/無効を切り替える」をご覧ください。

2 メニュー画面表示

メインメニュー画面が表示されます。

GAP-1
v1.0

バージョン表示（例）



テンチ
100%

電池残量表示



ケイホウテン
CO ガイ1 50ppm
CO ガイ2 150ppm

一酸化炭素の警報値



ケイホウテン
O2 ケイホウ 18.0%
O2 ハイケイホウ オフ

酸素の警報値



カンシチュウランプ
オフ

監視中ランプ オン/オフ



> スタート
キキトウロク
サクシヨ&トウロク
テンゲンノセッテイ

メインメニュー画面

4.1.3 警報ランプと警報ブザーを点検する



- 始業前の点検および定期点検・保守をする
ガス警報の発報が出来ない原因

1 点検/設定メニューに入る

- 1 **選択** で「テンケン/セッテイ」を選択する
- 2 **決定** を押す

```
スタート  
キキトウロク  
サクシヨ&トウロク  
> テンケン/セッテイ
```

メインメニュー画面

2 「ランプ&ブザーテスト」で **決定** を押し、 警報ランプと警報ブザーの点検メニューに入る

ポイント

- **選択** で「モデル」を選択して **決定** を押すとメインメニュー画面に戻ります。

```
> ランプ&ブザーテスト  
カンシチュウランプ オフ  
モデル
```

点検/設定メニュー画面

3 「スタート」で **決定** を押して、点検を開始する

LED 回転灯が点灯し、警報ブザーの2種類の音（連続音とスweep音）が交互に鳴ります。正しく動作していることを確認してください。

ポイント

- 音の高さが一定な音を、連続音と呼んでいます。
- 低音と高音が連続的に変化する音のことを、スweep音と呼んでいます。
- **選択** で「キャンセル」を選択して **決定** を押すとメインメニュー画面に戻ります。

```
ランプ&ブザーテスト  
> スタート  
キャンセル
```

点検メニュー画面

4 **決定** を押して、点検を終了する

LED 回転灯が消灯し、警報ブザーが鳴りやみます。その後メインメニューへ自動的に移ります。

```
ランプ&ブザーテスト  
> ストップ
```

点検中画面

お願い

- 点検の結果、警報ランプ、警報ブザーに異常が見られた場合は使用を中止し、修理を依頼してください。（→P.47「8 アフターサービスと保証書」）

4.2 使用する



- 弊社の Bluetooth®無線技術対応のガス検知器を登録して使用する
ガス検知ができない原因
- 登録済みのガス検知器の電源が入った状態で使用する
ガス検知ができない原因
 - ・ GOC-200 に関しては電源が入っていても Bluetooth 機能が有効になっていない場合があります。
Bluetooth 機能が有効であることを確認してから使用してください。
- 登録するガス検知器の取扱説明書をよく読んでから使用する
ガス検知ができない原因
 - ・ 対応する弊社のガス検知警報器については P.10 「2.3.1 Bluetooth®無線技術によるガス検知器との通信」を参照してください。

4.2.1 ガス検知器を登録後、ガス濃度を監視する

使用するガス検知器を追加（新規）で登録するとき

初めての使用時や、登録済みのガス検知器を残したまま新たにガス検知器を追加で登録する場合は以下の手順で使用してください。

1 登録したいガス検知器の電源を入れる

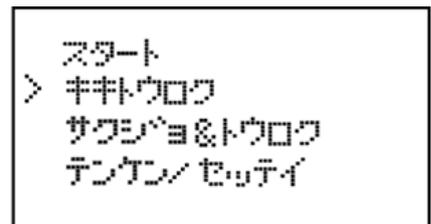
登録したいガス検知器は本製品の近くに置く、または本製品に取り付けてください。

ポイント

- ガス検知器の電源が入っていないと登録できません。

2 ガス検知器の登録メニューに入る

- 1 **選択** で「キットウロク」を選択する
- 2 **決定** を押す

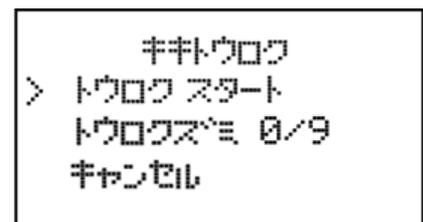


メインメニュー画面

3 「トウロク スタート」で **決定** を押す

ポイント

- **選択** で「キャンセル」を選択して **決定** を押すとメインメニュー画面に戻ります。



登録メニュー画面

4 本製品と通信可能なすべてのガス検知器が自動追加登録される

「トウロクスタート」→「スキャンチュウ」と表示された後、本製品と通信可能なガス検知器が最大9台自動追加登録され、ガス検知器登録確認画面が表示されます。

ポイント

- 自動登録されたガス検知器は型式の前に「+」（登録済みマーク）が表示されています。
- 登録は最大9台までです。ガス検知器登録確認画面の1行目にある「○/9」の○の部分に登録済みの検知器の台数が表示されます。
- 前回使用時に登録済みのガス検知器も表示されます。
- 前回使用時に登録済みのガス検知器(通信の有無は問わない)を含めて9台を超える通信可能なガス検知器が周囲に存在する場合は、前回使用時に登録済みのガス検知器は登録されたままに、残りの登録枠に通信強度が強いガス検知器から優先的に自動登録されます。

例)

前回使用時に登録済みのガス検知器が3台あった場合は新規に登録可能なガス検知器は6台になります。
周囲に新規の通信可能なガス検知器が9台あった場合、そのうち通信強度の強い6台のみが自動登録されます。

- 1ページに最大3台まで表示されます。**選択**を押してカーソルを下げると次のページに移ります。
- ガス検知器の製造番号は、ガス検知器の液晶表示部周辺に貼られているシールに書かれています。登録されたガス検知器の製造番号と一致するかご確認ください。
- ガス検知器の型式は以下のように表示されます。

ガス検知器型式	表示名
GOC-200	GOC-200
CM-9A-BT	CM-9A
GOC-100-2-BT	GOC-100

トウロク スタート



スキャンチュウ



登録済みマーク 登録済み台数 ページ数

トウロクスタート 1/9 p1
>+GOC-200 43690
スキャン
カンシ スタート

ガス検知器型式 ガス検知器製造番号

ガス検知器登録確認画面
(例) 登録台数：1台

トウロクスタート 3/9 p1
>+GOC-200 43690
+GOC-100 40064
+CM-9A 1001

<1ページ目>

トウロクスタート 3/9 p2
>スキャン
カンシ スタート

<2ページ目>

ガス検知器登録確認画面
(例) 登録台数：3台

5 使用するガス検知器が登録できているか確認する

使用するガス検知器に「+」がついていることを確認します。

ポイント

使用するガス検知器が表示されていない場合はガス検知器の電源が入っていることを確認後、

①で「スキャン」を選択して②を押してください。もう一度手順4からやり直すことができます。

「+」があれば、登録済み

ガス検知器登録確認画面（登録済み）

6 使用しないガス検知器の登録を削除する

使用しないガス検知器が登録されていると予期せぬ警報の発報などの原因になります。

使用しないガス検知器があれば登録を削除して、使用するガス検知器のみを登録済みの状態にしてください。

1 ①で登録を削除するガス検知器を選択

「+」がついていれば登録済み、ついていなければ登録されていない状態です。

2 ②を押して登録を削除する

「+」が消えれば登録が削除された状態になります。

もう一度②を押すと再度登録（「+」が表示される）できます。

ポイント

- ガス検知器登録確認画面で電源を切ると、電源を切る時点で「+」表示されているガス検知器が登録されます。前回使用時の登録状況には戻らないため、ご注意ください。

ガス検知器登録確認画面（登録済み）

② ↓ ↑ ②

「+」がついていなければ登録削除

ガス検知器登録確認画面（登録削除）

7 ガス濃度の監視を開始する

1 ①で「カンシ スタート」を選択する

2 ②を押す

このあとは、P.34「4.2.3 ガス濃度監視中の表示」をご覧ください。

ポイント

- 「カンシスタート」を選択せずに、③を押すだけでもガス濃度の監視を開始することができます。
- 登録済みマーク「+」が1つもついていない場合は「カンシスタート」しても「トウロクナシ」と表示されてガス検知器登録メニュー（手順2）に戻ります。

ガス検知器登録確認画面

ガス検知器の登録を一括削除してから、使用するガス検知器を登録するとき

登録済みのガス検知器をすべて削除したいときは以下の手順で使用してください。

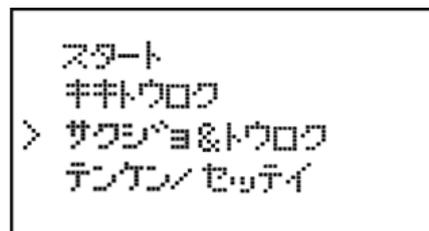
1 登録したいガス検知器の電源を入れる

登録したいガス検知器は本製品の近くに置く、または本製品に取り付けてください。

2 登録済みガス検知器を一括削除後、ガス検知器を新規登録するメニューに入る

1 **選択** で「サクジョ&トウロク」を選択する

2 **決定** を押す

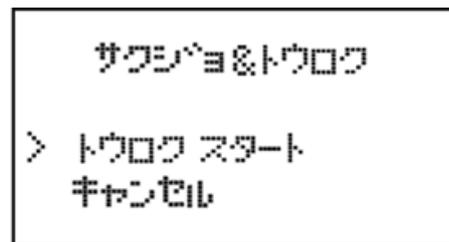


メインメニュー画面

3 「トウロク スタート」で **決定** を押して、登録を開始する

ポイント

- **選択** で「キャンセル」を選択して **決定** を押すとメインメニュー画面に戻ります。



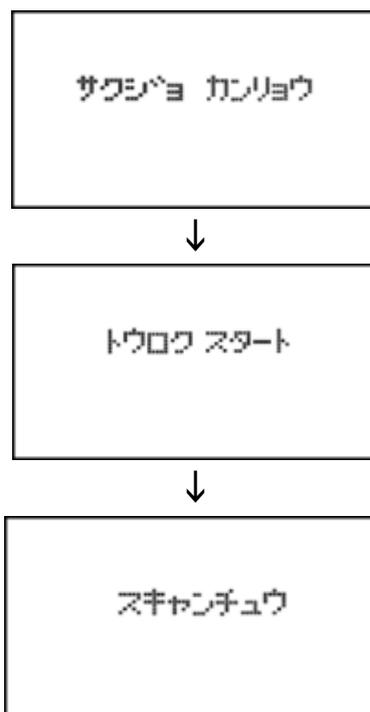
一括削除・新規登録メニュー画面

4 登録済みのガス検知器の一括削除後、本製品と通信可能なすべてのガス検知器が自動登録される

「サクジョ カンリョウ」→「トウロク スタート」→「スキャンチュウ」と表示された後、本製品と通信可能なガス検知器が最大9台新たに自動登録され、ガス検知器登録確認画面が表示されます。

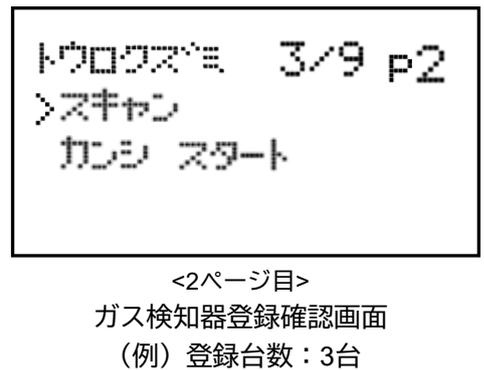
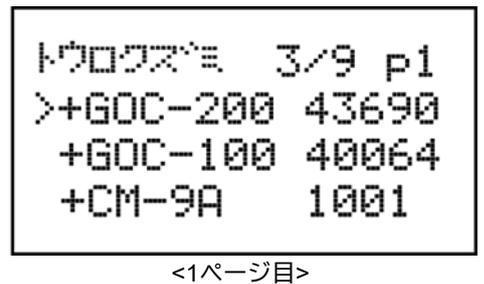
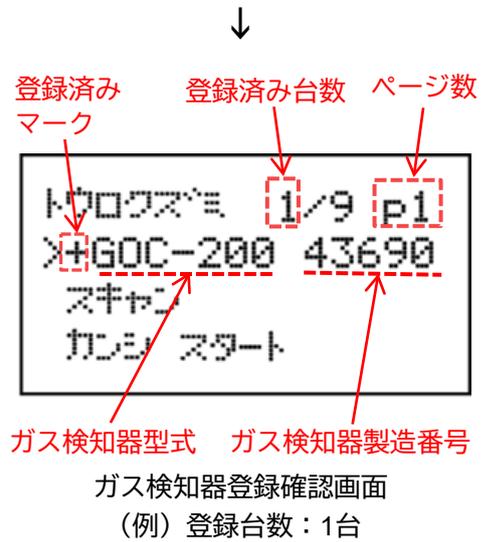
ポイント

- 自動登録されたガス検知器は型式の前に「+」（登録済みマーク）が表示されています。
- 登録は最大9台までです。ガス検知器登録確認画面の1行目にある「○/9」の○の部分に登録済みの検知器の台数が表示されます。
- 前回使用時に登録済みのガス検知器はすべて削除されます。
- 10台以上通信可能なガス検知器が周囲に存在する場合は、通信強度が強いガス検知器から優先的に9台自動登録されます。
- 1ページに最大3台まで表示されます。 **選択** を押してカーソルを下げていくと次のページに移ります。



- ガス検知器の製造番号は、ガス検知器の液晶表示部周辺に貼られているシールに書かれています。登録されたガス検知器の製造番号と一致するかご確認ください。
- ガス検知器の型式は以下のように表示されます。

ガス検知器型式	表示名
GOC-200	GOC-200
CM-9A-BT	CM-9A
GOC-100-2-BT	GOC-100



5 以下、P.27「使用するガス検知器を追加（新規）で登録するとき」の手順5以降と同じ

4.2.2 登録済みのガス検知器を使用してガス濃度を監視する

登録済みのガス検知器を確認せずに、ガス濃度を監視する

1 登録済みのガス検知器の電源を入れる

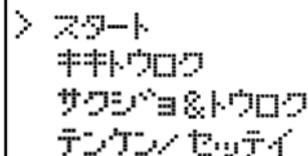
登録済みのガス検知器を本製品の近くに置く、または本製品に取り付けてください。

2 「スタート」で **決定** を押し、ガス濃度の監視を開始する

このあとは、P.34「4.2.3 ガス濃度監視中の表示」をご覧ください。

ポイント

- 登録済みのガス検知器が1台も無い場合は「スタート」で決定しても「トウロクナシ」と表示後、P.27「4.2.1 ガス検知器を登録後、ガス濃度を監視する」の「使用するガス検知器を追加（新規）で登録するとき」の手順3に移ります。



```
> スタート
  キットウロク
  サクシヨ&トウロク
  テンケン/セッテイ
```

メインメニュー画面

登録済みのガス検知器を確認してからガス濃度を監視する

1 登録済みのガス検知器の電源を入れる

登録済みのガス検知器は本製品の近くに置く、または本製品に取り付けてください。

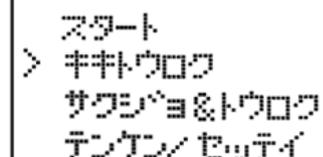
2 ガス検知器の登録メニューに入る

1 **選択** で「キットウロク」を選択する

2 **決定** を押す

ポイント

- 選択** で「キャンセル」を選択して **決定** を押すとメインメニュー画面に戻ります。



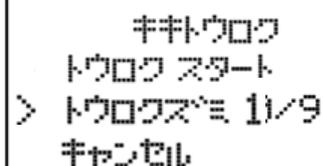
```
スタート
> キットウロク
  サクシヨ&トウロク
  テンケン/セッテイ
```

メインメニュー画面

3 **選択** で「トウロクズミ 0/9」を選択し、**決定** を押す

ポイント

- 選択** で「キャンセル」を選択して **決定** を押すとメインメニュー画面に戻ります。
- 登録済みのガス検知器が1台も無い場合、**決定** を押すと「トウロクナシトウロクスタート」と表示後、P.27「4.2.1 ガス検知器を登録後、ガス濃度を監視する」の「使用する



```
      キットウロク
      トウロク スタート
> トウロクズミ 1/9
      キャンセル
```

登録メニュー画面

ガス検知器を追加（新規）で登録するとき」の手順4に移ります。

4 前回使用時に登録済みのガス検知器が表示されます

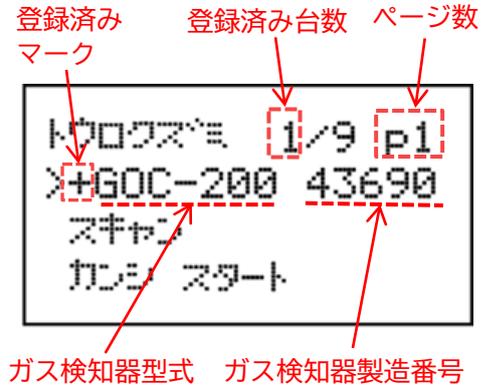
ポイント

- 登録済みのガス検知器は型式の前に「+」（登録済みマーク）が表示されています。
- 1ページに最大3台まで表示されます。**選択**を押してカーソルを下げていくと次のページに移ります。
- ガス検知器の製造番号は、ガス検知器の液晶表示部周辺に貼られているシールに書かれています。登録されたガス検知器の製造番号と一致するかご確認ください。
- ガス検知器の型式は以下のように表示されます。

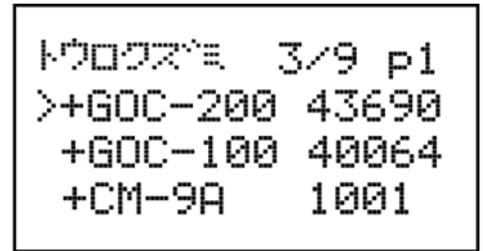
ガス検知器型式	表示名
GOC-200	GOC-200
CM-9A-BT	CM-9A
GOC-100-2-BT	GOC-100

- 使用するガス検知器が表示されていない場合はガス検知器の電源が入っていることを確認後、

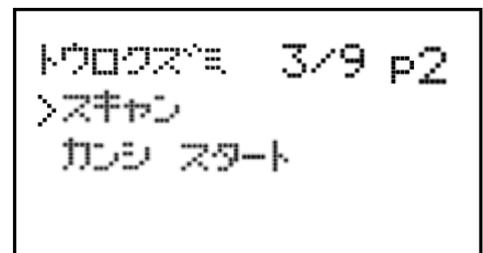
選択で「スキャン」を選択して**決定**を押してください。その後は、P.27「4.2.1 ガス検知器を登録後、ガス濃度を監視する」の「使用するガス検知器を追加（新規）で登録するとき」の手順4以降を参照してください。



ガス検知器型式 ガス検知器製造番号
ガス検知器登録確認画面
(例) 登録台数：1台



<1ページ目>



<2ページ目>

ガス検知器登録確認画面
(例) 登録台数：3台

5 ガス濃度の監視を開始する

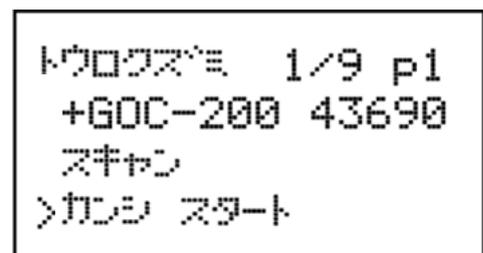
- 1 **選択**で「カンシ スタート」を選択する

- 2 **決定**を押す

このあとは、P.34「4.2.3 ガス濃度監視中の表示」をご覧ください。

ポイント

- 「カンシスタート」を選択せずに、**電源**を押すだけでもガス濃度の監視を開始することができます。



ガス検知器登録確認画面

4.2.3 ガス濃度監視中の表示

1 ガス濃度監視中

5秒程度「スキャンチュウ」と表示された後、登録したガス検知器の Bluetooth 電波を受信すると、受信した情報が本製品に表示され、ガス濃度の監視が始まります。

ポイント

- ガス濃度監視開始時は登録済みのガス検知器の中で一番通信強度の強いガス検知器1台の情報が表示されます。
(右図：登録済みガス検知器情報（1台）)
- **選択** を押すことで、登録済みガス検知器の一覧表示に切り替わります。
(右図：登録済みガス検知器情報（一覧）)
- 一覧表示では1ページに最大3台まで表示されます。**選択** を押すと次のページに移ります。

最後のページで **選択** を押すと一番通信強度の強いガス検知器1台の情報の表示に戻ります。

- 登録したガス検知器1台以上と本製品が通信中であれば受信ランプが点滅します。
- ガス警報発報時の動作は P.35 「4.2.4 ガス警報の種類と動作」を参照してください。
- メインメニュー画面に戻りたい場合は、一度電源を切ってから再度起動してください。

ガス検知器状態表示

表示なし：異常なし
A：ガス警報発報中
E：エラー発生中
N：通信不能

スキャンチュウ



製造番号 ガス検知器型式

GOC-200		GAP1
43690		テンチ
O2	21.0%	100%
CO	0ppm	

ガス濃度 本製品の電池残量

ガス濃度監視中画面
(登録済みガス検知器情報（1台）)



ガス検知器型式 製造番号

A	GOC-100	40064
E	GOC-200	43690
N	CM-9A	1001
スキャン 2		テンチ100%

通信中のガス検知器の台数 本製品の電池残量

ガス濃度監視中画面
(登録済みガス検知器情報（一覧）)

4.2.4 ガス警報の種類と動作



- 本製品がガス警報を発報した場合は速やかに避難して安全を確保する
酸欠事故、一酸化炭素中毒事故などの原因
・各事業所の安全衛生管理規定に従ってください。

警報名	発報動作	発報要因
一酸化炭素 第1警報	<p>警報メッセージ</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">CO タイプ1 ケイホウ</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 発報している ガス検知器の情報 GOC-200 43690 GAP1 O2 21.0% テンチ CO 50ppm 100% </div> <div style="font-size: 2em;">←</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●表示：上図のように交互に表示 ●警報ランプ：点灯 ●警報ブザー：1秒ごとにスイープ音 ●液晶バックライト：点灯 	通信している登録済みガス検知器の一酸化炭素濃度測定値が第1警報値以上になった。
一酸化炭素 第2警報	<p>警報メッセージ</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">CO タイプ2 ケイホウ</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 発報している ガス検知器の情報 GOC-200 43690 GAP1 O2 21.0% テンチ CO 150ppm 100% </div> <div style="font-size: 2em;">←</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●表示：上図のように交互に表示 ●警報ランプ：点灯 ●警報ブザー：スイープ音 ●液晶バックライト：点灯 	通信している登録済みガス検知器の一酸化炭素濃度測定値が第2警報値以上になった。
酸欠警報	<p>警報メッセージ</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">O2 ケイホウ</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 発報している ガス検知器の情報 GOC-200 43690 GAP1 O2 18.0% テンチ CO 0ppm 100% </div> <div style="font-size: 2em;">←</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●表示：上図のように交互に表示 ●警報ランプ：点灯 ●警報ブザー：スイープ音 ●液晶バックライト：点灯 	通信している登録済みガス検知器の酸素濃度測定値が警報値以下になった。
酸素濃度過多警報 ※設定している場合のみ	<p>警報メッセージ</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">O2 ハイケイホウ</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 発報している ガス検知器の情報 GOC-200 43690 GAP1 O2 23.0% テンチ CO 0ppm 100% </div> <div style="font-size: 2em;">←</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●表示：上図のように交互に表示 ●警報ランプ：点灯 ●警報ブザー：スイープ音 ●液晶バックライト：点灯 	通信している登録済みガス検知器の酸素濃度測定値が酸素濃度過多警報値以上になった。

ポイント

- ガス警報発報時は発報しているガス検知器の情報が優先して表示されます。
- 低音と高音が連続的に変化する音のことを、スイープ音と呼んでいます。

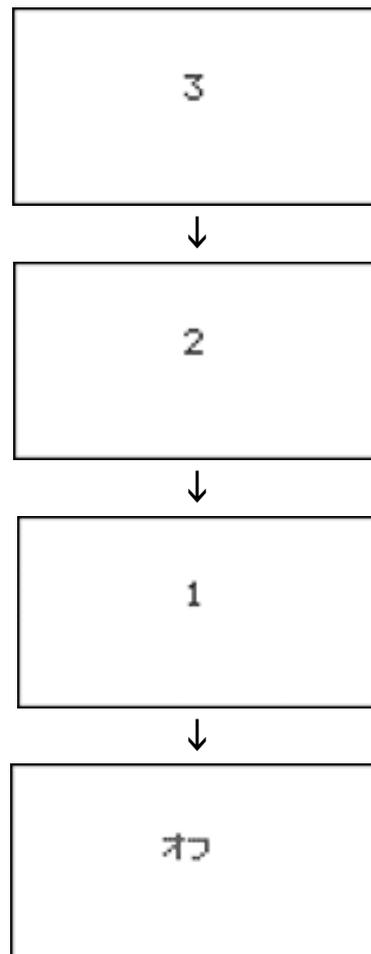
4.3 電源を切る

1 を長押しする

カウントダウンの後、電源ランプが消灯し、電源が切れます。

ポイント

- 電源が入っているときは各画面から電源を切ることができます。
- カウントダウン中に  を離すと、もとの画面に戻ります。



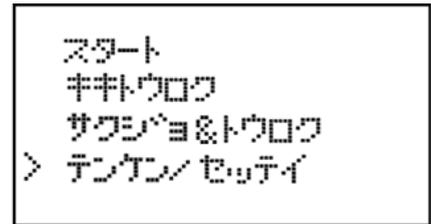
お願い

- 電源を切った後、長期間使用しない場合は切り替えスイッチを「充電」に設定してください。

4.4 監視中ランプ機能の有効/無効を切り替える

1 点検/設定メニューに入る

- 1 **選択** で「テンケン/セッテイ」を選択する
- 2 **決定** を押す



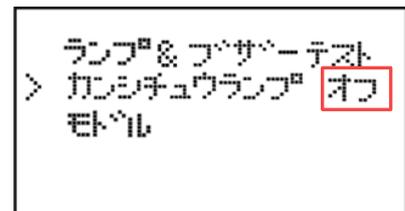
メインメニュー画面

2 監視中ランプのオン/オフを切り替える

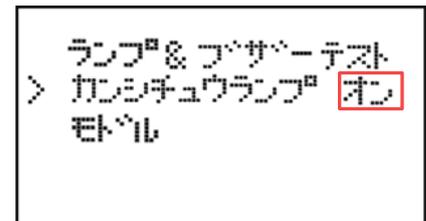
- 1 **選択** で「カンシチュウランプ オン」または「カンシチュウランプ オフ」を選択する
- 2 **決定** を押す

「カンシチュウランプ オン」（監視中ランプ機能：有効）に設定されている場合は
「カンシチュウランプ オフ」（監視中ランプ機能：無効）に切り替わります。

「カンシチュウランプ オフ」（監視中ランプ機能：無効）に設定されている場合は
「カンシチュウランプ オン」（監視中ランプ機能：有効）に切り替わります。



点検/設定メニュー画面



ポイント

- **選択** で「モデル」を選択して **決定** を押すとメインメニュー画面に戻ります。
- 表示されている「オン」もしくは「オフ」が現在の設定です。

3 設定を終了する

- 1 **選択** で「モデル」を選択する
- 2 **決定** を押す
メインメニューに戻ります。

5 メンテナンス

5.1 充電する



- 専用充電器については、専用充電器同梱の取扱説明書をよく読んで使用すること
事故や故障の原因

お願い

- 充電温度範囲を超える場所で充電しないでください。
本製品の充電温度範囲は P.45 「7 仕様」を参照してください。
- 専用充電器は防じん・防水仕様ではありません。水やほこりがかかる恐れのない場所で充電してください。

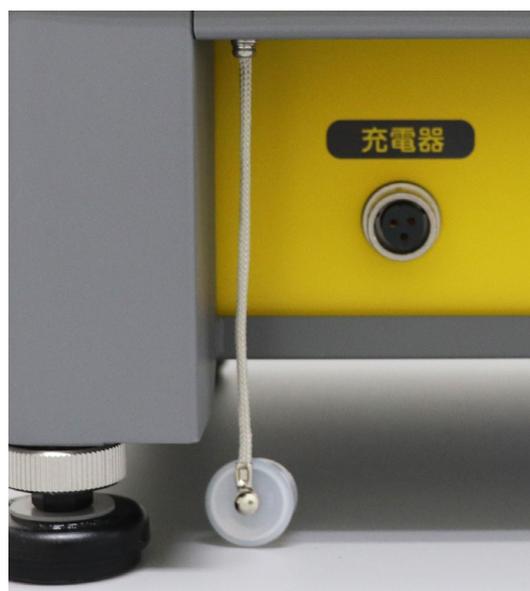
ポイント

- 充電時間は約5時間です。

1 切り替えスイッチを「充電」に設定する



2 充電器用コネクターのキャップを取り外す



3 専用充電器の出力コードのプラグを充電器用コネクタに差し込む

出力コードのプラグの固定部を持ち、コネクタのマークとプラグのマークを合わせ、“カチッ”とロック音がするまでまっすぐ差し込む。

お願い

- 出力コードのプラグの可動部を持ってコネクタに差し込むことはできません。必ずプラグの固定部を持って差し込んでください。

<専用充電器の出力コードのプラグ>



4 専用充電器の電源プラグを AC100V 用コンセントに差し込む

5 充電開始

専用充電器の赤色ランプが点灯したら充電が開始です。（満充電まで約5時間かかります。）

お願い

- 指定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。



6 充電終了

専用充電器の赤色ランプが消灯し、緑色ランプが点灯したら充電が終了です。



7 専用充電器の電源プラグを AC100V 用コンセントから引き抜く

8 専用充電器の出力コードのプラグを充電器用コネクタから引き抜く

出力コードのプラグの可動部を持ち、まっすぐ引き抜く。

お願い

- 出力コードのプラグの固定部を持って引き抜くとロックが外れず、接続端子が壊れる恐れがあります。
必ずプラグの可動部を持って引き抜いてください。

<専用充電器の出力コードのプラグ>



9 充電器用コネクタにキャップをする

お願い

- キャップをしないと防じん・防水性を損ないます。
充電時以外は必ずキャップをしてください。



ポイント

- 専用充電器の状態は赤色ランプ、緑色ランプで確認ができます。詳しくは専用充電器の取扱説明書を参照するか、専用充電器貼付のシールをご覧ください。
- 充電中は電池残量の確認ができません。充電を途中でやめる場合は電池残量の確認（→P.12「2.3.3電池残量の確認方法と連続使用時間」）をしてから使用してください。

5.2 お手入れ

本体が汚れたときは、水拭き後、乾いた布で優しく拭いてください。

お願い

- アルコールを使用して洗浄しないでください。
- 水に浸けて洗浄しないでください。
- 専用充電器は水拭きをせず、乾いた布で優しくふいてください。

6 故障かな?と思ったら

警報・電池残量・異常などを、液晶表示、警報ランプ、警報音、お知らせランプによってお知らせします。故障かな?と思われたときは、修理に出される前に、下表をご確認ください。

6.1 こんなときは

現象	原因・意味 → 処置
電源が入らない	切り替えスイッチが「電池使用」に設定されていない →切り替えスイッチを「電池使用」に設定してください。(→P.19「3.1.1内蔵充電池を使用する場合」) 内蔵充電池の電池残量不足 →充電をしてください。(→P.38「5.1充電する」) 専用 AC アダプター (オプション) 接続不良 →専用 AC アダプターの接続を確認します。(→P.19「3.1.2専用 AC アダプター(オプション)を使用する場合」)
電源が切れる	内蔵充電池の電池残量不足 →充電をしてください。(→P.38「5.1充電する」) 専用 AC アダプター (オプション) 接続不良 →専用 AC アダプターの接続を確認します。(→P.19「3.1.2専用 AC アダプター(オプション)を使用する場合」)
連続使用時間が短い	低温下での内蔵充電池の電池容量の減少、発報する回数が多いなどの環境的な要因 →充電する間隔を短くしてご使用ください。 内蔵充電池の劣化 →充電池交換を最寄りの弊社営業所または販売店に依頼してください。
警報ランプが光らない	警報ランプの故障 →修理を依頼してください。(→P.47「8 アフターサービスと保証書」)
警報ブザーが鳴らない	警報ブザーの故障 →修理を依頼してください。(→P.47「8 アフターサービスと保証書」)

<p>ガス検知器を登録できない</p>	<p>対応していないガス検知器を登録しようとしている ➡対応するガス検知器を使用してください。（→P.10「2.3.1 Bluetooth®無線技術によるガス検知器との通信」）</p> <p>ガス検知器の電源が切れている ➡ガス検知器の電源を入れてください。</p> <p>ガス検知器の Bluetooth 機能が有効になっていない（GOC-200のみ） ➡ガス検知器の Bluetooth 機能を有効にしてください。</p> <p>受信アンテナが金属などで覆われている ➡受信アンテナを覆うものを取り除いてください。</p> <p>ガス検知器の通信強度が弱い ➡登録するガス検知器を本製品に取り付けてください。</p> <p>すでにガス検知器が上限の9台登録されている ➡使わない登録機器を削除してから、登録してください。（→P.27「4.2.1 ガス検知器を登録後、ガス濃度を監視する」の「ガス検知器の登録をすべて削除してから、使用するガス検知器を登録するとき」）</p>
<p>ガス検知器が発報しているにも関わらず、本製品が発報しない</p>	<p>ガス検知器が登録されていない ➡対象のガス検知器が登録されているか確認してください。（→P.34「4.2.3 ガス濃度監視中の表示」）</p> <p>ガス検知器と本製品が通信できていない ➡対象のガス検知器と通信できているか確認してください。（→P.34「4.2.3 ガス濃度監視中の表示」）</p> <p>ガス検知器と本製品の警報値が異なる ➡対象のガス検知器と本製品の警報値を確認してください。（→P.25「4.1.2 電源を入れる」） 本製品の警報値を変更したい場合は最寄りの弊社営業所または販売店にお問い合わせください。</p>
<p>本製品とガス検知器の通信可能距離が短い</p>	<p>受信アンテナが金属などで覆われている ➡受信アンテナを覆うものを取り除いてください。</p> <p>障害物の影響 ➡本製品およびガス検知器の場所を移動してください。</p> <p>電波干渉が生じている ➡周辺で本製品と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用した無線 LAN、電子レンジ、無線機器が周辺で使用されているか確認し、可能であればそれらの機器の使用をやめてください。または、本製品およびガス検知器を電波干渉のない場所へ移動してください。</p>

6.2 エラーメッセージ

動作	原因・意味 → 処置
<p>●表示：メモリー エラー</p> <div data-bbox="183 264 483 427" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">メモリー エラー</div> <p>●警報音：なし ●警報ランプ：消灯 ●エラーランプ：点灯</p>	<p>本製品内部のメモリー、回路が故障しています。 ➡修理を依頼してください。（→P.47「8 アフターサービスと保証書」）</p>
<p>●表示：デンチ ザンリョウ テイカ ジュウデン シテクダサイ</p> <div data-bbox="175 629 485 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">デンチ ザンリョウ テイカ ジュウデン シテクダサイ</div> <p>●警報音：5秒に1回連続音 ●警報ランプ：点灯 ●エラーランプ：点灯</p>	<p>電池残量が低下しています。そのまま放置すると電源が切れます。 ➡充電してください。（→P.38「5.1充電する」）</p>
<p>●表示：コウオン チュウイ</p> <div data-bbox="201 958 478 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">コウオン チュウイ</div> <p>●警報音：5秒に1回連続音 ●警報ランプ：点灯 ●エラーランプ：点灯</p>	<p>本製品の温度が異常な高温になっています。 ➡本製品を周囲温度が使用温度範囲内の場所へ移動してください。</p>
<p>●表示：トウロク キキ ジュシンナ シ</p> <div data-bbox="191 1308 469 1456" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">トウロクキキ ジュシンナシ</div> <p>●警報音：5秒に1回連続音 ●警報ランプ：点灯 ●エラーランプ：点灯</p>	<p>通信可能な登録済みガス検知器が1台もないため、ガス濃度の監視をすることができません。 ➡・登録しているガス検知器の電源入っているか確認してください。 →電源が切れていたら、電源を入れてください。 ・登録しているガス検知器を本製品に近づけるか、または本製品に取り付けてください。 ・登録しているガス検知器が無い場合は、ガス検知器を新たに登録して使用してください。</p>
<p>●表示：トウロクキキ エラー</p> <div data-bbox="197 1641 472 1789" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">トウロクキキ エラー</div> <p>●警報音：5秒に1回連続音 ●警報ランプ：点灯 ●エラーランプ：点灯</p>	<p>通信強度が一番強いガス検知器がエラーを発生しています。 ➡エラーを発生しているガス検知器の電源を切るか、本製品から遠ざけるかした後、エラーの出していない登録済みのガス検知器を本製品に近づける、または本製品に取り付けてください。 ガス検知器のエラーに関しましては、それぞれのガス検知器の取扱説明書をご確認ください。</p>

ポイント

- 音の高さが一定な音を、連続音と呼んでいます。

7 仕様

7.1 仕様

品名/型式	半定置形ガス警報器/GAP-1	
ガス濃度測定方式	各ガス検知器からの Bluetooth®無線通信によるガス濃度データの取得	
Bluetooth® 無線技術仕様 ※1	Bluetooth v5.1 (最大通信範囲：約10m)	
対応ガス検知器	装着形酸素・一酸化炭素検知警報器 Bluetooth®無線技術搭載装着形一酸化炭素検知警報器 Bluetooth®無線技術搭載装着形酸素・一酸化炭素検知警報器	GOC-200 CM-9A-BT GOC-100-2-BT
表示範囲	酸素	一酸化炭素
	0.0~42.0% (42.1%以上：Hi 表示) (最小目盛り：0.1%)	0~1999ppm (-99~-1ppm：数値表示) (-100ppm 以下：Lo 表示) (2000ppm 以上：Hi 表示) (最小目盛り：1ppm)
警報値 (標準仕様) ※2	酸素	一酸化炭素
	酸欠警報：18.0% 酸素濃度過多警報：無し	第一警報：50ppm 以上 第二警報：150ppm 以上
警報方式	ブザー、ランプ、自動復帰	
ブザー音量	ブザー面より距離1mで95dB 程度	
警報ランプ	LED 回転灯 (赤色)	
表示方式	液晶デジタル表示器 (バックライト付き)	
表示内容	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth 通信により受信した検知器の情報 (型式、製造番号、ガス濃度、エラー) 本製品の電池残量 本製品の電源種類 (専用 AC アダプター接続時のみ) 本製品のエラー 	
使用環境	[使用時] 温度：-10~40℃ 相対湿度：30~90%RH(結露無きこと) [充電時] 温度：5~35℃	
構造	防じん・防水構造(IP55相当)	
電源	ニッケル水素充電電池 (本体内蔵) AC 電源 (専用 AC アダプター (オプション))	
連続使用時間	ニッケル水素充電電池 (新品、周囲温度：20℃) 無警報時：約250時間 警報時：約12時間	
充電時間	約5時間 (新品、周囲温度：20℃)	
外形寸法	ハンドルを上げた場合：約250×250×463mm ハンドルを下げた場合：約250×250×412mm	
重量	約7.4kg	
その他の機能	電波・静電気障害対策、自動回路動作チェック、高さ調整、自動検知器登録、監視中ランプ機能、検知器取り付け	

標準付属品	専用充電器、取扱説明書（保証書含む）
-------	--------------------

※1 Bluetooth®は Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。株式会社ガステックは使用許諾の下で使用しています。

※2 警報値を変更したい場合は最寄りの弊社営業所または販売店にお問い合わせください。

7.2 オプション

品名	商品コード	内容
装着形酸素・一酸化炭素検知警報器	GOC-200	本製品で酸素濃度と一酸化炭素濃度の両方を監視する場合に使用します。
Bluetooth®無線技術搭載 装着形一酸化炭素検知警報器	CM-9A-BT	本製品で一酸化炭素濃度のみを監視する場合に使用します。
専用 AC アダプター	GSP400FT-71	AC 電源を使用するときが必要となります。 (仕様) 入力：AC 100V 50/60Hz 出力：DC 12V

8 アフターサービスと保証書

P.42「6 故障かな?と思ったら」の内容を確認後、修理が必要な場合はお買い上げになった販売店または最寄りの弊社営業所に以下の事柄を添えて、ご依頼ください。

- 製品名称
- 型式
- 製造番号
- お勤め先住所
- お勤め先名
- 所属（部署など）
- お名前
- 電話番号
- ご購入販売店
- ご購入年月日

その他アフターサービスに関するお問い合わせにつきましては下記にお問い合わせください。

株式会社ジーサービス
神奈川県綾瀬市深谷中8-8-6
電話：0467-79-3919 FAX：0467-70-6609

保証書

保証規定

1. 株式会社ガステックは、保証期間内に本製品を正しく使用し発生した不具合は無償にて、当該製品の修理または交換することを保証いたします。
2. 本保証は、製品単体を対象といたします。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効といたします。
お買い上げ製品を海外へ間接輸出される場合、輸出規制物資の該非判定書発行をもって、本規定の適用を除外し製品に関するすべての責任は、輸出元に帰属するものとします。
4. 保証期間
お買い上げ製品の保証期間は、ご購入日より1年間です（有効期限、部品交換等の別途記載あるものを除きます）。
5. 保証範囲
次に示す場合には、保証期間内であっても、保証対象外（有償修理）となります。
 - 5-1 製品仕様外（温湿度、その他製品に有害な環境）にて使用した場合。
 - 5-2 修理依頼に際し、本保証書が提示できない場合、またはユーザー登録が無い場合。
 - 5-3 保証書にご購入販売店名および、ご購入年月日の記載が無い場合、または字句が書き替えられた場合。
なお、ご購入年月日の記載が無い場合に、本製品の納品書または納品書コピーを代わりといたします。
 - 5-4 取扱説明書、製品本体のラベル等に記載の警告、注意事項に反する取り扱い、あるいは使用中の落下、衝撃等に起因する故障または損傷。
 - 5-5 付属治具や本製品のご使用上の誤り、メンテナンス不足、あるいは不当な改造や修理に起因する故障または損傷。
 - 5-6 ガステックまたはガステックが認定した代理店以外から有償・無償問わず譲受された本製品を使用した場合。
 - 5-7 火災、地震、風水害、塩害、落雷、その他天変地異、あるいは使用電源等、外部要因の異常に起因する故障または損傷。
 - 5-8 お客様のご使用環境に起因し生じた部品の消耗による性能低下や故障、部品の交換不備に起因する故障または損傷。
 - 5-9 過度な要求条件のもとで使用やサービスを取り扱われた場合。
6. 製品ごとの保証範囲
製品ごとに定められた弊社基準にて出荷時の外観・各性能
7. 責任の制限
製品または製品の使用から生じた、下記に示す損害及び損失、及び第三者または第三者のためになすお客様からの請求への対応を含め、製造物責任法などの強行法規を除く、損害賠償責任その他いかなる責任も負わないものとします。
 - ・逸失利益、その他の間接損害を含む損害
 - ・経済的損失、運賃、諸経費等の損失
8. その他
 - 8-1 保証規定は予告なく改定できるものとします。
 - 8-2 弊社製品およびサービスをご購入またはご利用いただくことで、品質保証に関する基本的方針の内容にご同意いただけたものとみなしてお取り扱いいたします。
 - 8-3 お買い上げ製品の取扱説明書または保証書に改定前の保証規定が添付される場合は、弊社ホームページに掲載された保証規定を最新のものとしてお取り扱いいたします。
なお、弊社ホームページへの掲載をもってお知らせいたします。

製品名称	半定置形ガス警報器
型式	GAP-1
製造番号	
お勤め先住所	
お勤め先名	
所属（部署等）	
お名前	
電話番号	
ご購入販売店	
ご購入年月日	

株式会社ガステック

営業本部： 〒252-1195 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-6

電話：0467（79）3911

FAX：0467（79）3979

西日本営業所： 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル

電話：06（6396）1041

FAX：06（6396）1043

九州営業所： 〒812-0066 福岡市東区二又瀬11-9 パークサイドスクエア

電話：092（292）1414

FAX：092（292）1424

ホームページアドレス：<https://www.gastec.co.jp/>

メールでのお問い合わせ：webadmin@gastec.co.jp